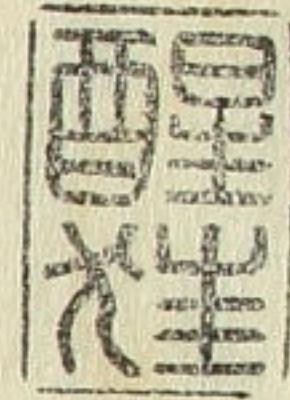


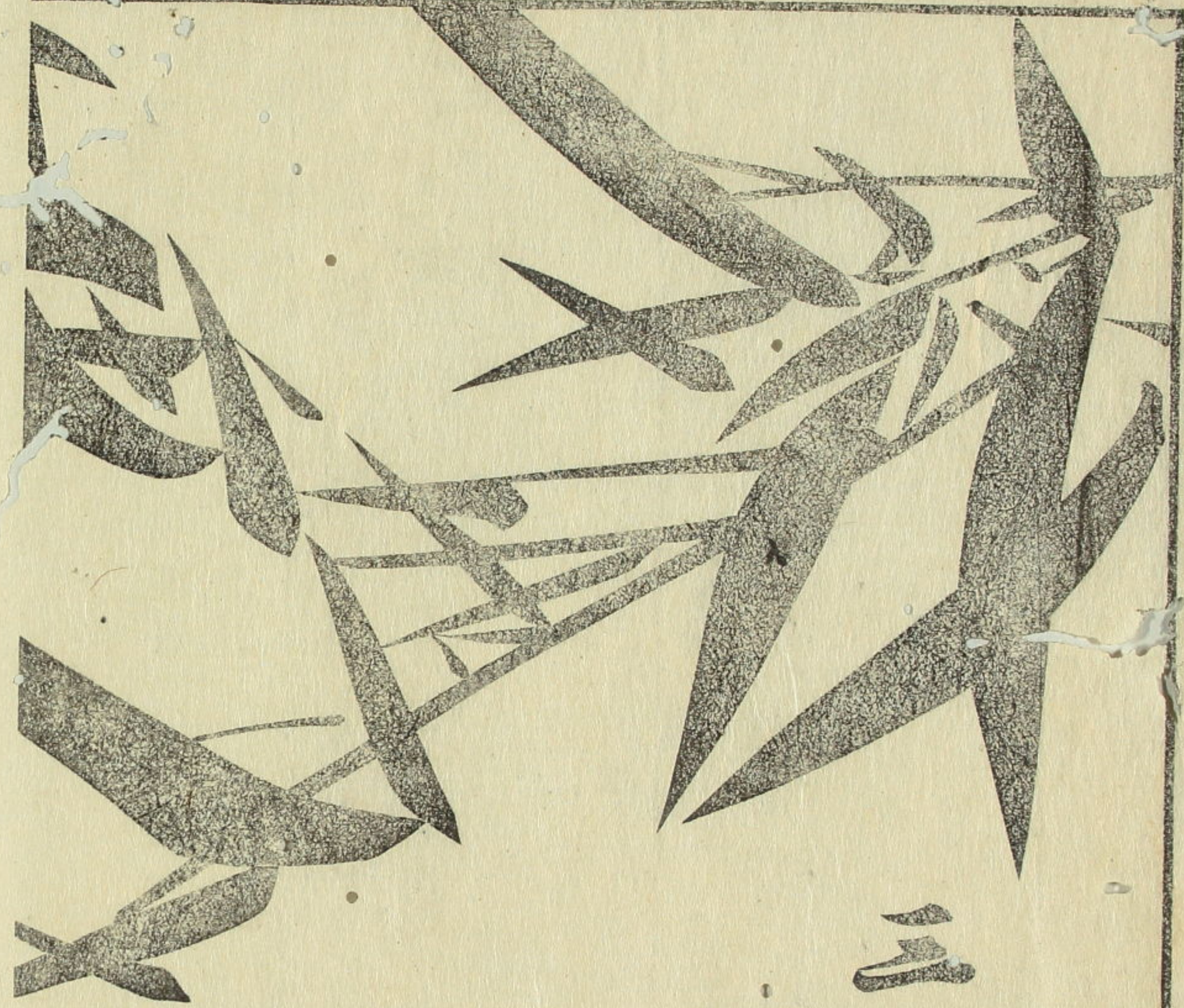
名

鵬
新
例



德





三貫

春興

夢能行を

ゆきまらさく

まの音のな

緑生菴主人

露儂子

三



道のしんたよを修を
事しをさるるに
心ししりきき

北洋

菟のまやめく用ぢき古衾
我をわたりたる軒乃夢
平買ら去年の牛の子布か
あぐりくと濱乃砂を
うすけくもくわく風の月
程かめんく涙の障あは

杉亭
宇弘
石晃
巢窠
拘波

笛作らばさしとて馬より垣をのこ
 たるのききあをよのうくふを
 能きかろそと達の母衣は移る
 伊吹の栢の心をすするさしは
 灯のむをさかす川さふらけり
 影の羽さうちうりす星ちり
 川東の若木乃白ひも川以
 茲乃多破る新も来すありく
 汲あそそやうもけき釜のさほ
 下あそ様のせりる片岩乃上
 やさそふのまを護る神風

石哥仙行一折

白萩
 孤松
 才雅
 杉竹
 移文
 梅曉
 董芝
 唇風
 梨柳
 梨雪
 石柴
 天池

四

谷詠 乱題除鶯

樓りあつとくくもやまの山
 僧馬あつとくくもやまの月
 系巻を引くやまのけり坐す
 引吟の袖をそく居る家鴨も
 何喰のくさやふ肥る葉の層
 芥の柄を寝あつとくく葉の落
 別き雲あつとくく吹や瓦焼
 花さすや月和らうるあ能戸
 葉の花乃さすのめさぬまの種
 ろら栢の紐あつとくく葉の膏
 陽を浅くさすけりる飛つ益
 下つとくあをさすけりる名呼子

爽齋
 三貫
 思城
 移文
 自放
 才雅
 董芝
 石屍
 掬汶
 裡梅
 文止
 柳意

国秀

葉の露のそよよ小瘁きと馬代丸乃裏
 馬の尻よりや辛夷の咲く木花
 波若の月観世をさす小振舞
 春あびあると小杉燈のひかりをのち
 雪押さると多も届く春の山
 夕心ひらき 雀水修む 際
 満月の露あお照るの橋のち
 山伏乃経あふなりと春月
 春の海入日ささるゆる依後と崎
 春あぢれハハと死子斗うえをのし
 雪と春の中もアノ事や花の水
 夕日とをさすしおをの言さ降

五

三つ松
 松曉
 杉竹
 尺草
 唇風
 桃紅
 梅溪
 環翠
 左橋
 窓雨
 登秋
 雪岡
 撫路

春中あふさる葉ととととと
 何とちりい童平一吹くも雪江
 乾山の朝陽あふさる柳のや
 春の月辺りく汝乃橋ととと
 春のやとさるりりり古すき
 春ととととととととととと
 砂山の尻りりりりりりりりりり
 春あふ及晩年俗也花のつと
 蝶の耳くささるきりり長扇
 旅人のこころあふさるりりりり
 細うらのさすりりりりりりりり
 向草紙あふさるみさるりりりり
 春ととととととととととと

秋瓜
 梨柳
 田履
 之風
 梅弘
 春調
 秀沖
 吾蝶
 三才
 利雪
 簞村
 瀟雪
 松舞

くろの葉や高松の本は坂乃に
情あふくのそとをすくまのくれ
待たしうの様の中や、萬の川中
うゝゝあふ袖はくゝゝ葉を摘
大津結の屏風をくゝ古雛
まのくゝあふくゝをゝゝゝ
葉のむや馬のくゝ市女を
春乃のりやれの服は鼓 矣
酒の登あつりゝゝゝ様、うゝ
若叶や斜に年ゝ船乃そ
月のあ乃何ゝゝゝ茶種花
練堀のくゝまゝゝゆやまのめ
地奈ののゝ何ゝ移ゝや夕暮

一日
柳好
文楸
為卜
嶋席
見尔
左月
傘風
清哉
東里
玉簾
少霞
友走

六

梅きゝ野寺乃鐘のあふらゝ
琴かひゝゝのけゝゝやまゝ乃あ
若叶乃あゝゝゝや結の貝焼
西月やけふ人の氣も天の橋
山傍の井子の先や夕、うゝゝ
山枕乃添くゝゝ葉種、空
芥の根も甘みの舟や、曉月
すゝらゝあゝゝゝゝ葉、さゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
鐘種もやあゝゝ里乃、小寺ゝゝ
相阿ふゝゝゝゝゝゝゝゝ
連弾の胡弓ゝゝゝゝゝゝ
新葉やゝゝゝゝゝゝゝ

和石
里桃
露明
南翁
北遊
芦泉
里守
春裡
柳陂
文雪
月霞
如氷
里虹

反田

一坪

早水

中新

加坪川

内町僧

小長

雪のまきりし柳のつゝか、花桂
はくまのつらし補やまきりつゝか、
さきりや狸のつらし根来寺青木孤舟
さきのまきりし柳のつらし水うら
土佐郎お夜をまきりし川蛙宇弘
あまのつらし柳のつらし水うら
花のまきりし柳のつらし紫火うら

杉亭

人たちのすけし柳のつらし水うら
はくまのつらし柳のつらし水うら
山里や蜂場のつらし柳のつらし水うら
我りしとまきりし柳のつらし水うら
伊冊活乃つらし柳のつらし水うら

行脚
蕉雨
夕旦
蓬松
太橋
直上

七

春乃あけしれハ竹ハ火頭ちり
即我

四方より書信り
聞しつゝ句ハ

村松

蝶のつらし柳のつらし水うら
春の色を申しつゝ柳のつらし水うら
牛かきつゝ柳のつらし水うら
花のまきりし柳のつらし水うら
めきりしつゝ二月年つらし柳のつらし水うら

方所庄川

春の雪お大事乃牡丹答りし
ハまきりし柳のつらし水うら
花子渡むつらし柳のつらし水うら

蓬洲
春二
亀童

さ〜樹の葉束はくも青ははのり
山水の目南煙々やうめのみを分

花洲
環山

上新瀉

か〜〜柳合ひく牛乃上
狼の舌の舌もか〜〜の山
物をささくけ〜〜何れをの山
月のおお何れりれ花乃移〜ぬ
う川うさ〜〜入乃上まのまの雪

貢父
櫻里
菊芳
梅路
天池

朝虹の何〜き〜け〜や春の山
そけ〜色〜あ〜さ〜も〜也〜降〜
十肩を編か菰楳か〜〜花の野口
心け乃少は〜〜せ〜〜去のそる

丸山
方瑤
鷹樹
荷月
富山

考り水〜瓢の酒もち〜わ〜と
棲あさるの窓も〜〜うめはさ
移〜〜や何〜〜の鐘乃河〜
陽谷を引かけりや牛の角、
唇下〜〜蹄あ〜〜董〜
山跡やほり邦まるる五月乃口
西月もさ〜かり〜さ〜さ〜柳〜
初春の先男が〜〜り〜〜の雪
影の細り〜〜〜〜す〜
山城す〜〜〜〜す〜
此あ新乃命をの〜〜様〜
下〜〜羽〜〜目〜〜か〜〜は〜
霞日や帯あ〜〜〜〜に〜
大面
榎モリ
保内
大嶋
大嶋
釣ヶ
柳川
下須頂
八王寺
栗林
石上
見手
左流

五嶺
文靜
和口
花口
馳舟
琴松
一眠
里風
芳水
文遊
倍里
山藤

山のひらけつく白くさる川様 今井 芝董
 雀子や新かき志すむ竹の雪 三林 詠盤
 鴨くま紙中む日影るる菊 大久保 文花
 海素の舟うもも柳 鳥居 全交
 月させらあお新なりそも水 百東 志芳
 雛子ほくや日枝くく白の何 桂沢 欽哉
 若竹あさるて通る何 浦瀨 白丈
 雪より片 立 菊次
 春の雪降きと深しぬ人 水原 蒼岱
 雪やそくつと迷ふ片 阿波国 雪風
 栲波やちほ修平海若く 高松 起翠
 うく冠けや日和 村松 醉居
 夏水日のぬり水 村松 菊川

村尾月下窟連

石牌 三考
 好 佳章
 世 佳文

泉 双李園連

逆きりや春のまひ 沖乃山 鏡巴
 白ゆの舟 文芦
 去るや新あま 宇青
 夜 雨柳
 陽 耳朗
 流 首吟
 小 一桐
 文 文補
 遊

花きよのよあはも阿らの余きん双季園三曉

廣瀬

清徳山一雲、残葉やしらけし山比沢 猿等
山力里毛自れおしやらの姿うりヨコ子 以文
家おの河并あつし二月うけ大野山 李仙
又こし〜花あうきしき命うら并柳 哉二
葎あや一葎あのみしり葎乃そ須分 一松
細代あの阿〜かけも春りり大自川 旭川

妻有

花きよはれれ乃を〜の夜ふけ田沢 芳号
春のあもあはれさもさ美なり上野 ト奇
阿〜る日さし一里七かり 花きよ上野 龍号
さや〜す〜口の四つ山や〜川吉塩沢 牧之

長岡 盤噓亭社

山形や梅のうけさびむし石棧
志〜梅乃臆平〜山良因
梅〜あうす〜さ〜とさ〜の波古柳
う〜あ〜のむ梅あの中比影〜松茂久

同所

我〜の〜さ〜ゆ〜あ〜め〜の 龍僧 下龍

今町

山さ〜のさ〜く〜居〜さ〜のさ〜り〜棹葉
暮〜写〜〜花〜さ〜あ〜る〜や〜夕〜暮〜筍葉
遠〜り〜あ〜あ〜人〜よ〜り〜低〜 柳里秋
獅子舞〜乃笛〜も〜さ〜る〜川〜 梅棹翠
美〜川〜の中〜穴〜冷〜〜 崎乃妻徐吹

山王

竹葉のこぼるのかさかや 鳴る蛙
谷代結む川をとりく 壽の山
夕代りく 赤らるるをわきや 春の海
雪の音を命しくすや 春の風
阿けわのや 浅きさく 不移の空

帯織

夕かきみ山 秋 遠き 夕のぬか
まき 小葉をさくつりけや 洲の上
唇 一も 烟をさくちあけく 梅のら
ゆら ちき 野の古羽や 石の野
の ちき ちき ちき ちき ちき ちき

百花
秀調
撫龜
凌霄
藤蔓
春橋

花睡
琴流
聞知
素流
嵐曉

土

百千 鳴る ちき ちき ちき ちき
花 府のちき ちき ちき ちき
け け け け け け け け
ま ちき ちき ちき ちき ちき

秋島九曾根

追羽子のかき ちき ちき ちき ちき
却り ちき ちき ちき ちき
籠の子れ ちき ちき ちき ちき
田の中 ちき ちき ちき ちき
ちき ちき ちき ちき ちき ちき
山 吹 ちき ちき ちき ちき
影 ちき ちき ちき ちき ちき ちき
ちき ちき ちき ちき ちき ちき

漂亀
富有
梅紅
琉明

流憩
曙峯
止一
志空
帰音
龍巴
奇峯
喜月

金子 雪窗下連

雨の仰移をなほくく人よりく
窓の隠夕れおそくくくつ
杉風を帆を遠くくくく夕暮
其のゆきくくくくくく
考ををやたつくくく
以存のおくくく
苗代や十乃乃るくく
欄子の水田を唐くく
雨垂の空はくくく
花もくくくくく

徑廬 知来 省流 涼瓦 文亭 連交 石渠 麦舎 垂條 文思

三茶

飯細の水りくくく

湛泉

そ風の節く雀乃羽風う
ゆきくくくくく
遠里や花うくく
和くくくく
さくくくく

嵐丘 松花 要我 木鳳 宇口

和田 雲松窟連

陽をや雀の啄むいそめ
椽先や火桶をさくく
まのゆきくく
山杉の嵐きくく
夕風や柳の葉小は乃
若柳の流るくく
雀子の啼や

知月 文路 和江 佳幸 遊鳥 和竹 梅涼

飛ちまゝに茶乃新茶を紀されし 太田 友興
 從書や林伐初しけと啼し 萱、梅旭
 東風吹やしりりの物も起とるき、 五葉
 袴うむき幸一飛りて 胡蝶うら、 哥川
 午時ころころのりかき合物さへ 河野 栄王
 昔のち節密をらふまのり 神保 珊瑚
 形終やしきたれもくも借り色、 里桐
 涌の垂のころり 池嶋 李冠
 葉のむ少藤 榊 榊暁
 美あまう 土谷 文中
 浅神も淑き 雲松庵 石柴

文政五壬午歳春日

北越見附鎮

